

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

2018 Guidebook

保健・医療・福祉の高度専門職へのキャリアアップを支援。
働きながら学べる大学院です。

医療福祉学研究科

- 【修士課程】 保健医療学専攻
医療福祉経営専攻
臨床心理学専攻
【博士課程】 保健医療学専攻

薬学研究科

- 【博士課程】 医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

- 【修士課程】 生命薬科学専攻

医学研究科*

- 【修士課程】 公衆衛生学専攻
【博士課程】 医学専攻

※設置認可申請中



0120-36-5931



E-mail nyushi@iuhw.ac.jp



HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

東京赤坂キャンパス 完成予想図
(2018年4月開設予定)



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ご挨拶

国際医療福祉大学大学院は、我が国の保健・医療・福祉の分野において、指導的な役割を担うことが期待できる高度医療専門職の人材を集め、育成することを目的として1999年に開設されました。仕事を持つ社会人にも十分な研究環境を提供できるよう、さまざまな配慮をした、他に類を見ないユニークな大学院です。

本大学院は、開設以来、多彩な医療分野に焦点をあてた新しい専攻や分野を次々に開設してきました。社会のニーズをいち早く察知し、それに応えるべくダイナミックに進化して行く運営が本大学院の大きな特徴のひとつです。さらに大田原、成田、東京赤坂（2018年4月に東京青山を移転）、小田原、熱海、福岡、大川の7か所の各キャンパスを通信回線をつないだ同時双方向遠隔授業システムが稼働しています。このようなICT※を活用した授業は、VOD（ビデオ・オン・デマンド）やeラーニングにまで発展して遠隔地での受講や振り返りの学習も可能にし、教育環境を充実させています。

上記の特徴的な教育に加え、本学には大学附属の5病院（国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学市川病院、国際医療福祉大学三田病院、国際医療福祉大学熱海病院）があり、さらに東京の山王病院、福岡の福岡山王病院、高木病院など多数の関連医療福祉施設があります。これらは、いずれも院生の臨床実習施設の場になっています。また、大学院およびその教員と深く関連した事業として、公開講座「乃木坂スクール in 青山」や、「看護生涯学習センター」、「九州地区生涯教育センター」、「国際医療福祉総合研究所」などの附属施設も充実しており、院生たちの教育・研究に多彩な選択肢を提供しております。

2018年4月の赤坂キャンパスへの移転を機に、本大学院も更なる飛躍・発展を目指しておりますので、皆様のますますのご支援を頂きたい、よろしくお願い申し上げます。

※ ICT：Information and Communication Technology



国際医療福祉大学大学院長

三浦 総一郎（みうら そういちろう）

慶應義塾大学医学部卒業、医学博士。
前防衛医科大学校長。
防衛医科大学校名誉教授、慶應義塾大学医学部
客員教授。2017年6月より現職。

沿革

- 1999年** 保健医療学専攻（修士課程）開設
- 2001年** 保健医療学専攻（博士課程）・医療福祉経営専攻（修士課程）開設
- 2005年** 生殖補助医療胚培養分野 開設*
医療福祉ジャーナリズム分野 開設*
- 2006年** 助産学分野・視機能療法学分野 開設
- 2007年** 臨床心理学専攻（修士課程）開設
（2008年4月（財）日本臨床心理士資格認定協会第1種指定）
- 2008年** 文部科学省『がんプロフェッショナル養成プラン』に基づき、がん治療放射線技師コース・がん薬物療法認定薬剤師コース・がん登録専門コース 開設
- 2009年** ナースプラクティショナー養成分野（現 特定行為看護師養成分野）開設
- 2010年** 薬学研究科 生命薬科学専攻（修士課程）開設
医療経営管理分野に医療経営戦略コース（h-MBAコース）開設
診療情報管理・分析学分野（博士課程）開設
- 2011年** 医療福祉ジャーナリズム分野（博士課程）開設
医療福祉心理学分野（博士課程）開設
福祉援助工学分野 福祉用具管理指導者養成領域開設*
（現 福祉支援工学分野 福祉用具管理指導者領域）
- 2012年** 薬学研究科 医療・生命薬学専攻（博士課程）開設
- 2015年** 医療福祉教育・管理分野（修士課程）開設
- 2016年** 臨床検査学分野（修士課程・博士課程）開設
- 2017年** 医療通訳・国際医療マネジメント分野（修士課程）開設

※いずれも国内初

副大学院長



副大学院長
国際医療福祉総合
研究所長
中村 秀一

東京大学法学部卒業。元厚生労働省大臣官房審議官。前内閣官房社会保障改革担当室長。一般社団法人 医療介護福祉フォーラム理事長。



副大学院長
保健医療学専攻主任
理学療法学分野
責任者
医療福祉教育・管理
分野責任者
丸山 仁司

東京理科大学卒業。医学博士。第10回アジア理学療法学会会長、元日本理学療法士協会副会長、理学療法科学学会会長。



副大学院長
リハビリテーション学
分野責任者
医療福祉国際協力学
分野責任者
赤居 正美

東京大学医学部卒業。医学博士。前国立障害者リハビリテーションセンター病院長、元東大病院リハビリテーション部副部長。国際医療福祉大学ロボット研究センター長。



副大学院長
（九州担当）
福岡国際医療福祉
学院院長
今泉 勉

九州大学医学部卒業。医学博士。前久留米大学医学部心臓・血管内科主任教授。久留米大学名誉教授。

国際医療福祉大学大学院の教育理念

修士課程では、大学を卒業した保健・医療・福祉分野の専門職またはこれに準じる人々に再教育の場を提供することにより、高度専門職を養成します。また博士課程の学生、および修士課程でも研究者を志す学生には、徹底した研究指導を行います。

各教員が、日進月歩する保健・医療・福祉の高度化・専門分化に対応した教育と研究の推進に努めます。

専門性

本大学院は、修士課程では「保健医療福祉の分野において他分野を理解し、連携することのできる高度専門職または研究職」を育成することをめざし、博士課程では「保健医療福祉の分野において指導者の役割を果たすことのできる人材」を育成することを目指しています。この目標を達成するため、4つの教育理念を掲げています。

学術性

学際性

種々の領域の講座を聴講できる、あるいは他領域の先生や学生と議論を行うことができる場の提供により、保健・医療・福祉分野の幅広い視野を持つ学生の養成に努めます。

利便性

働きながらも学修できる授業時間割編成、遠隔テレビ会議システムによる双方向授業の導入などにより、従来なら時間的、空間的制約のために大学院教育を受けられなかった社会人に対しても大学院教育の門戸を開きます。

「働きながら学びたい。」 —— 社会人が学びやすい3つの特長

1 カリキュラム

多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講。eラーニングシステムを用いたVOD授業、夏期・冬期や日曜日の集中講義も充実しています。

2 同時双方向遠隔授業

テレビ会議方式を用いた遠隔授業システムで、音声や映像、パソコンのファイル情報がリアルタイムで共有できます。

3 7キャンパスを開設

全国6つの都道府県に7つのキャンパスを開設。それぞれのキャンパスを遠隔授業システムで繋ぎ、遠隔地からの授業も不便なく受講できます。

全国に7つのキャンパスを展開

自宅や職場の最寄りのキャンパスで、授業やゼミ、研究指導を受けられます。

大田原（栃木県）、成田（千葉県）、東京赤坂（東京都）、小田原（神奈川県）、熱海（静岡県）、福岡・大川（福岡県）に7つのキャンパスを開設しています。



大田原キャンパス（栃木県大田原市）

テレビ会議方式を用いた「同時双方向遠隔授業システム」で、遠方のキャンパスの講義をリアルタイムで受講でき、映像や音声のやり取りで臨場感をもって授業に参加できます。



※ 2018年4月に東京青山キャンパスを移転予定です。



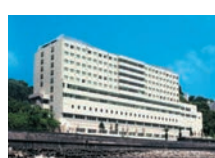
東京赤坂キャンパス（東京都港区）



成田キャンパス（千葉県成田市）



小田原キャンパス（神奈川県小田原市）



熱海キャンパス（静岡県熱海市）



福岡キャンパス（福岡県福岡市）



大川キャンパス（福岡県大川市）

東京赤坂キャンパス特集ページをご覧ください。（P.3－P.4）

同時双方向遠隔授業により、遠隔地でもリアルタイムに講義を受講できます



パソコンの
ファイルや映像
音声、教室風景
質疑応答



本学大学院ではテレビ会議方式を用いた同時双方向遠隔授業を積極的に取り入れ、遠隔地で開講されている講義を、全キャンパスにおいてリアルタイムで受講することが出来ます。このシステムは論文の報告会でも用いられ、各学年で年1回実施される報告会では、全国のキャンパスに向けて報告をし、各地の教員や院生から研究に関する指摘を受けることが出来ます。

eラーニングシステムを活用した多様な授業

eラーニングシステムとは？

主にインターネットを利用した学習形態。インターネットに接続されたパソコンがあれば、どこでも学習が可能です。

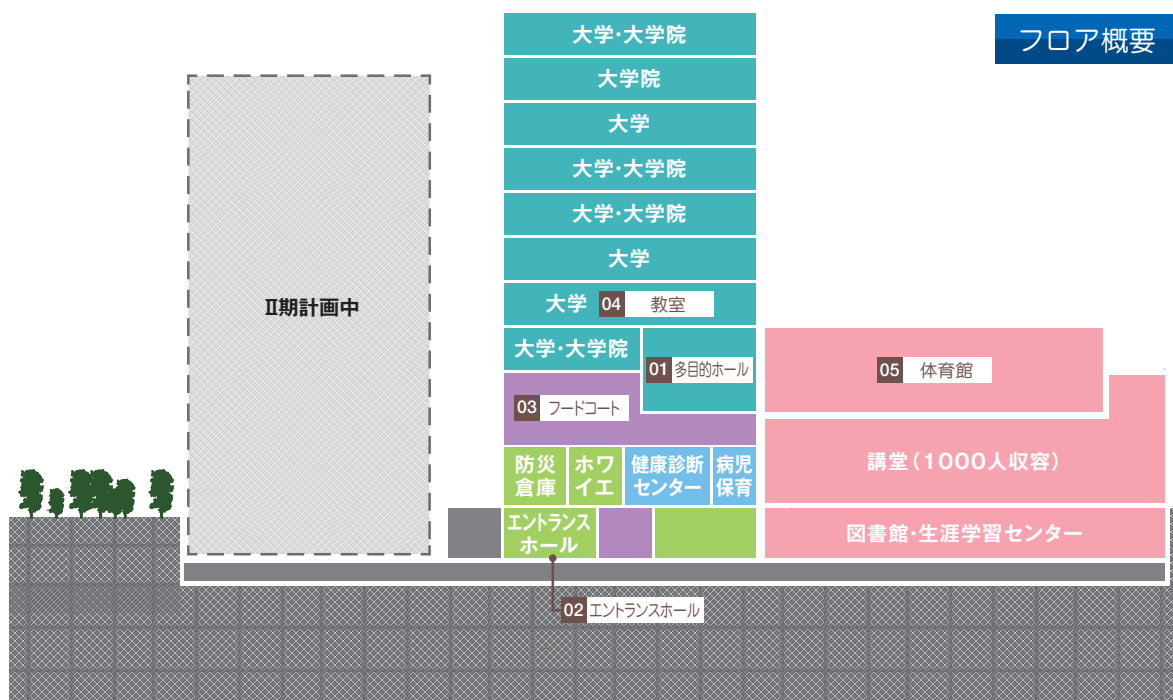
eラーニングでの学習のみで単位を修得できる「全VOD科目」ほか、教室での授業を並行して実施する科目、資料配布のためにのみ使用する科目など、学生のニーズに合わせた複数の形態を用意しています。



実際のeラーニング科目の受講画面：講師の授業映像、使用しているパワーポイントが表示されています。

2018 年、東京都港区 赤坂の地に、
「東京赤坂キャンパス」を開設します。

東京・赤坂は、青山や六本木にも近く、この一帯はファッションや文化の発信地でもあります。その都心の一等地に、地下1階地上11階建てのキャンパスが誕生します。付近には東京メトロ丸の内線、銀座線、千代田線、半蔵門線が乗り入れており、通学にも便利です。建物内には、1,000人を収容できる講堂や図書館、体育館などを備え、学びやすい環境が整っています。



東京赤坂キャンパスの特長

大学院に医学研究科^{*}を新設、新分野・領域も展開

2018年4月より、公衆衛生学専攻と医学専攻からなる「医学研究科^{*}」を新設予定です（東京赤坂、成田キャンパス）。また新たに、遺伝や遺伝性疾患について習熟し、悩みを抱える方をサポートする遺伝カウンセラーを養成する「遺伝カウンセリング分野^{*}」、災害を主眼に置き、個人や家庭、地域や公共団体などの様々な主体と連携して、日常的な防災・減災に向けた取り組みを担う人材を養成する「災害医療分野」を新設する予定です。

さらに、看護学分野内には保健師を養成する「公衆衛生看護学領域実践コース^{*}」、がん拠点病院で必要とされるがん看護師を養成する「がん看護学領域」を、先進的ケア・ネットワーク開発研究分野には自立支援介護の担い手を養成する「自立支援介護学領域（1年コース）」を開設します。

※設置認可申請中

新学部・新学科を開設

「赤坂心理・医療福祉マネジメント学部」を新設し、「心理学科」および「医療マネジメント学科」を設置する予定です。心理学科では、新たな国家資格である「公認心理師」の養成を目指します。医療マネジメント学科では、IT情報やデータを分析・活用することで医療の質を高める、新時代の経営のスペシャリストを養成します。

国内最大級の生涯教育の新拠点

キャンパス内に、生涯学習センターを設置するとともに、大規模な学会や研修会なども開催可能な約1,000人収容の講堂を併設します。

キャンパス内施設

01 多目的ホール



02 エントランスホール



03 フードコート



04 教室



05 体育館



医療福祉にかかわる多様な分野を展開

国際医療福祉大学大学院の課程編成

大学院 医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 特定行為看護師養成分野
(旧:ナースプラクティショナー養成分野)
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野

医療福祉経営専攻

- 医療経営管理分野
- 診療情報アナリスト養成分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 医療通訳・国際医療マネジメント分野

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 臨床検査学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

TOPICS

2018年度 新規開講予定

医学研究科*

修士課程 公衆衛生学専攻
博士課程 医学専攻

医療福祉学研究科

修士課程 災害医療分野
博士課程 医学専攻
遺伝カウンセリング分野*

・修士課程 看護学分野に「公衆衛生看護学領域 保健師コース*」、「がん看護学領域(CNS)」を開設

・修士課程 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野に「自立支援介護学領域(1年コース)」を開設

・医療福祉教育・管理分野に「修士論文コース」を開設

大学院 薬学研究科

博士課程(4年制)

医療・生命薬学専攻

大学院 薬科学研究科

修士課程

生命薬科学専攻

- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

※以下の分野については、受講できるキャンパスが限定されていますのでご注意ください。

修士課程

- 東京赤坂キャンパスでのみ開講…看護学分野(公衆衛生看護学領域実践コース*、周産期看護学領域)、特定行為看護師養成分野、福祉支援工学分野(福祉用具管理者指導者領域)、医療経営管理分野(医療経営戦略コース)、医療通訳・国際医療マネジメント分野、臨床心理学専攻
- 大田原・福岡キャンパスでのみ開講…助産学分野 実践(資格取得)コース
- 成田・大川キャンパスでのみ開講…臨床検査学分野
- 大田原・東京赤坂キャンパスでのみ開講…薬科学研究科

博士課程

- 成田・大川キャンパスでのみ開講…臨床検査学分野
- 東京赤坂キャンパスでのみ開講…臨床心理学分野
- 大田原・東京赤坂キャンパスでのみ開講…薬学研究科

※設置認可申請中

医療福祉学研究科 専攻主任

保健医療学専攻主任



丸山 仁司 教授

東京理科大学卒業。医学博士。第10回アジア理学療法学会会長、元日本理学療法士協会副会長、理学療法科学学会会長。

医療福祉経営専攻主任



竹内 孝仁 教授

前日本医科大学リハビリテーション科教授。日本自立支援介護学会会長。日本ケアマネジメント学会副理事長。介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会会長。医学博士。

臨床心理学専攻主任



亀口 憲治 教授

東京大学名誉教授。国際家族心理学会会長。米国家心理学会会員。家族心理臨床研修センター長。システム心理研究所理事長。教育心理学博士。米国家心理学会理事。

薬学・薬科学研究科 研究科長、専攻主任

薬学研究科長



武田 弘志 教授

薬学部長。前東京医科大学教授。日本薬理学会理事・研究推進委員長。日本神経精神薬理学会理事・財務委員長。日本ストレス学会理事・元会長。日本緩和医療薬学会理事・前会長・財務委員長・編集委員長。医学博士、薬学博士。

薬科学研究科長



渡邊 敏子 教授

千葉大学大学院薬学研究科修士課程修了。博士(薬学)。薬剤師。千葉大学薬学部・同大学院薬学研究科助教授、ドレスデン工科大学(ドイツ)博士研究員を経て現職。本学薬学部教授・薬学科長、大学院薬学研究科および薬科学研究科教授。

生命薬科学専攻主任



山田 治美 教授

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻博士課程修了。博士(薬学)。東京大学医科学研究所附属病院薬剤部、フランス国立ピシャ・クロウド・ベルナルド病院寄生虫研究室研究員を経て、本学薬学部就任。

分野・専攻紹介

看護学分野

分野責任者：荒木田 美香子 教授

看護学は実践の科学であるといわれているように、看護の実践から追究課題を見だし、実践の質を高めることに貢献することが重要です。本分野は12の領域を展開しており、2018年4月よりがん看護師を養成する「がん看護学領域」、保健師の資格取得を目指す「公衆衛生看護学領域（実践コース）」を新たに開設する予定で、多面的に看護学を学ぶことができます。

特定行為看護師養成分野

分野責任者：栗田 康生 准教授

本分野は、特定行為研修指定研修機関として厚生労働省より指定を受けています。厚生労働省特定行為研修に準拠した21区分38行為の特定行為を習得できるに留まらず、プライマリー・ケアおよびクリティカル・周術期の両分野において、専門に偏らずに活躍し、すべての患者さんに迅速かつ適切に対応できるシネナリスト・ナースの育成を教育の基本としています。

助産学分野

分野責任者：黒田 緑 教授

国家試験受験資格を取得する課程と、有資格者の実践能力の向上を目指す過程として「実践コース」、また、助産領域の研究者・教育者の育成を目指す「修士論文コース」の二つのコースを展開しています。免許取得希望者と有資格者の両者の存在は、それぞれの目標に向けてお互いにとってよい刺激となっています。（※本分野は大田原・福岡キャンパスにて開講しています）

理学療法学分野

分野責任者：丸山 仁司 教授

基礎理学療法学領域、応用理学療法学領域の二つの領域を展開しています。基礎では、基礎医学を含めて運動・動作分析、評価、呼吸循環代謝の研究を行っています。応用では、疾患に対する理学療法や、地域理学療法、教育、国際協力など幅広く研究が可能です。院生のほとんどが社会人で、昼は病院等で勤務し、夕方や休日等で学習・研究しています。VOD授業もなるべく多く取り入れ、自宅での履修も可能にしています。

作業療法学分野

分野責任者：谷口 敬道 教授

作業療法学の基礎から応用実践に至る各側面についての研究法の教授と実践を通じて、多くの保健医療福祉専門職における作業療法・作業療法士の役割・位置を俯瞰できる能力を培い、作業療法の実践能力とともに研究指導能力を兼ね備えた、理論的思考かつ豊かな人間性を大切にする実践家、教育者ならびに研究者を養成しています。特に博士課程においては、専門領域の知識・技術をより深め、その領域の専門家を育てています。

言語聴覚分野

分野責任者：藤田 郁代 教授

高度な知識技能と指導管理能力をもつ臨床の指導者、研究者、教育者の育成に力を注いでいます。修了生から、臨床が面白くなった、実習生や後輩の指導に自信がもてるようになったとの声が届いています。修了後に大学教員に採用された方もおります。言語、聴覚、発声発語、摂食嚥下の全領域の研究が可能で、実績ある教員が指導します Evidence based Practice やキャリアアップを目指す方の入学を歓迎します。

視機能療法学分野

分野責任者：新井田 孝裕 教授

視機能の基礎的側面や発達・加齢・疾患に伴う視覚障害の臨床的側面に関する研究を通じて、探究心や思考力を養い、実践的な研究技法の修得を目指します。近年の眼科医療の目覚ましい進歩と高齢社会におけるリハビリテーションの必要性を考え合わせ、眼科領域のみならず視覚に関連する幅広い領域で活躍できる高度な知識と応用性を有する専門家・教育者・研究者を目指す人材を養成しています。

福祉支援工学分野

分野責任者：山本 澄子 教授

福祉用具や用具を使用する人の動きを対象に研究を行っています。福祉用具の評価、開発、使用実態の調査などを通して、福祉用具の有効活用を目指します。本分野には3次元動作計測を中心とした計測器を使用した研究を行う福祉支援工学領域と、社会調査を中心とした福祉用具管理指導者領域があり、福祉用具管理指導者領域では車いすやリフトなど福祉用具に関する資格取得が可能です。

リハビリテーション学分野

分野責任者：赤居 正美 教授

リハビリテーションの実務者として、高度な知識と実践力を体得するとともに、研究の創生から研究手順・手法を学び、研究を計画・実施し、他の人に自分の考えを伝える方法を習得することを目標にしています。そのことを通じて、医療実践におけるリハビリテーション専門職、関連有識者としての知性と見識を身につけた人材の育成に力を注いでいます。

放射線・情報科学分野

分野責任者：内蔵 啓幸 教授

医用画像学領域と放射線治療学領域の2つの領域からなり、画像診断・放射線治療に関する基礎研究、臨床における問題解決のための研究、新技術の開発研究などについて、院生と教員が一体となって幅広く展開しています。また、修士課程には医学物理コース（医学物理士認定機構認定）を設け高度専門教育の充実を図るなど、探究心・向上心溢れる院生の教育・研究活動を手厚くサポートしています。

生殖補助医療胚培養分野

分野責任者：堤 治 教授

21人に1人が体外受精で生まれる今日、胚培養士の役割はより重要になっています。本分野は、1年次に胚培養士に必要な基礎生殖生物学から臨床医学まで広く講義がおこなわれ、2年次には山王病院において720時間の実習で技術も習得し、学会による胚培養士受験資格を得ることができます。また現職の胚培養士のキャリアアップを目指す修学の場としても機能しており、委託実習制度を利用すれば働きながら研究することも可能です。

医療福祉教育・管理分野

分野責任者：丸山 仁司 教授

保健医療系の教員を目指す人、教職のかたわら修士号の取得を目指す人、医療福祉施設の管理職を目指す人を対象にしています。社会人の通学への負担軽減のため、eラーニングシステムを利用した講義を多く設けて自宅等での履修を可能にするともに、入学時・夏季・冬季にスクーリングを実施しています。高度専門職業人養成を目的とした、実践的な講義が中心となりますので、出願には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の国家資格を持ち、3年以上の実務経験が必要となります。

臨床検査学分野

分野責任者：大澤 進 教授

臨床検査学を構築するための人材を育成し、その対象は医療教育機関の教員を目指す人、既に現職の人、医療研究機関の研究者や高度先進医療を目指す臨床検査技師などを対象した分野です。臨床検査学の知識・技術や科学的な方法論に基づく高度先進医療の教育を行い、臨床検査学の確立と発展をさせる人材の育成を目的とする。また、国際的な臨床検査学の指導者として活躍できる人材の育成を行っています。

診療情報アナリスト養成分野(修士)／診療情報管理・分析学分野(博士)

分野責任者：山本 康弘 教授

診療情報管理学領域における体系的な理論と実践を学び、学術研究論文を執筆して修士号または博士号の取得を目指す分野です。3つのコースが設けられた修士課程は、医療現場の実務課題をアカデミックな観点から問題解決を図る課題研究コース、修士学位論文を執筆するコース、がん登録を専門的に学ぶコースがあります。「診療情報管理士」資格取得者および診療情報管理業務の実務経験を有する方の進学を推奨します。

先進的ケア・ネットワーク開発研究分野

分野責任者：竹内 孝仁 教授

本分野は、広くケアとネットワークに関して「先進的な開発」を行っていることを目的としています。ケアの現場や教育の現場が抱える問題の改善に、院生が主体的に取り組み目ざましい研究成果をあげています。主に自立支援に関する介護およびケアマネジメントの実践および基礎をテーマに研究しています。教員と院生が一体となって新しいものを創ることに大きな喜びがあります。

医療福祉ジャーナリズム分野

分野責任者：大熊 由紀子 教授

ジャーナリストとしての発信力を磨こうという人だけでなく、社会に向かって発信したいという思いをもった医療や福祉の専門職、NPO関係者が、この分野で学んでいます。そのために必要な「伝える技術」を、ジャーナリストとして活躍した教授陣が、一人一人の持ち味を生かし作品や論文の完成まで親身に伴走します。他分野の教授陣の講義を受け知識の幅を広げることができるのも、この分野の特徴です。

臨床心理学専攻(修士)／臨床心理学分野(博士)

専攻主任／分野責任者：亀口 憲治 教授

家族心理学、司法犯罪心理学、精神医学、特別支援教育を含む学校臨床、被害者支援、高齢者臨床など多彩な専門領域の教員を揃え、各年代の諸テーマに対応しています。さらに、附属病院、関連福祉施設による多様で充実した実習環境を確保しています。保健医療福祉分野において多職種協働ができ、社会ニーズに応える専門職の育成に努力しています。

※本専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会「第1種指定大学院」の認定を受けており、また新たに国家資格となる「公認心理師」のカリキュラムにも対応する予定です。

薬科学研究科

研究科長：渡邊 敏子 教授

薬科学はライフサイエンスを基盤として、生命や健康について研究する総合的な応用科学です。そして、これらの研究により得られた新しい知識や技術などの成果をもって人類の健康に貢献することを目的とします。薬科学研究科は、高いリサーチマインドや臨床能力を身につけた広範な薬学の専門知識を有する薬学研究者および専門薬剤師の育成を目指しています。さらに、社会人のニーズにも応えたカリキュラム構成をとり、向学心のある社会人学生の要望に応える研究科です。

医療経営管理分野(修士)／医療福祉経営学分野(博士)

分野責任者：武藤 正樹 教授

医療・福祉組織のマネジメントや、医療・福祉政策に関心をもつ社会人学生が中心の分野です。ヘルスケア分野における高い経営戦略立案能力を有した人物育成を目的とした医療経営戦略コース(h-MBAコース：修士課程)と、医療・福祉に関わる経営・政策・情報などの研究課題を探究する医療福祉学コース(研究コース：修士課程／博士課程)で構成されています。

医療福祉国際協力学分野

分野責任者：赤居 正美 教授

生物学や医学は、包括的な科学知識に基づいていますが、医療行為は各国、各地域の文化的・社会的背景に基づいて、独自のシステムが反映されています。本分野では医療福祉国際協力学領域、国際感染症学領域、国際医療保健学領域の三つの領域を展開し、各領域における第一人者を講師陣に揃えています。多様な価値観や道徳に基づく医療事情を理解し、国際協力と国内活動の両方に貢献できる国際的医療人の育成を目指します。

医療福祉学分野

分野責任者：中村 秀一 教授

本分野は社会福祉学を学問的基盤とし、社会福祉と保健医療というふたつの領域を中心として関連する諸分野をも視野に入れた研究課題を深めることができます。実践経験にもとづく問題意識をもとに、研究課題としてとりくみ、研究成果を実践に還元したいという意欲ある学生を歓迎します。

医療通訳・国際医療マネジメント分野

分野責任者：押味 貴之 准教授

本分野は、わが国初の「医療通訳・国際医療マネジメント」として、国際医療サービスの提供に必要な医療通訳や国際医療事務・国際医療マネジメントの知識を備えたいいわゆる国際医療コーディネーターの役割を果たせる人材の育成を目的としています。本分野は実践型の修士課程であり、1年間で修士の学位を取得することができます。また、本分野には英語・中国語の2コースがあります。

薬学研究科

研究科長：武田 弘志 教授

薬学研究科 博士課程は、特に、がん・感染症・精神神経疾患等の薬物治療において、豊富な知識と技術、そしてこれらの領域において高度な研究能力を兼ね備えた専門性の高い人材を育成します。専門薬剤師や研究者および教育者育成につながる多岐にわたる研究を行っているため、興味ある研究を実施することが可能です。さらに社会人のニーズにも応えたカリキュラム構成をとり、社会人学生が研究しやすい環境を整えています。

MEMO

事前面談制度について

本大学院では、出願前に各分野の担当教員との事前面談を行う必要があります。希望する研究テーマと研究指導教員の専門領域が一致するか、また修学にあたっての留意事項などを事前にご相談いただくものです。それぞれの分野の連絡先は募集要項と一緒にお配りしている「教員連絡先一覧」をご参照ください。(※臨床心理学専攻については事前面談は必要ありません)

大学院の関連施設・活動

■ 乃木坂スクール

「医療福祉に関心があり、最近の医療事情を学びたい」「大学院への入学を検討していて、授業の雰囲気を体験してみたい」という方に向けた、夜間に学べる本格的な生涯学習コースです。医療福祉に関わる仕事をし、ある程度の専門知識を持っている方を対象としたものから、初心者の方でも気軽に受講できるものまで、多彩なラインナップをご用意しております。



■ コースの特徴

I 政策を考える、II マネジメントを究める、III データに強くなる、IV 多彩な医療・福祉の展開、V 国際的な視点に立つ、以上5つのカテゴリーの中から、ご自身の関心に合わせてお好きなコースが選べます。講師には医療福祉の分野の第一線で活躍するリーダー・有識者の方々がゲストとして迎え、最新のトピックスを取り上げます。

東京を基本とし、他キャンパスでも同時双方向遠隔授業システムによる受講が可能です。通学が難しい方や、欠席時のフォロー用として、Web受講もご利用いただけます（一部講座を除く）。本学大学院生は、ほとんどの講座を無料で聴講できます。

2017 年後期 開講講座の一例

- I 政策を考える**
01 「社会保障政策概論」 中村 秀一 教授
- II マネジメントを究める**
07 「マネジメントとリーダーシップによる医療福祉イノベーション」
杉本 真樹 准教授・武藤 正樹 教授
- III データに強くなる**
19 「地域医療ビッグデータ活用入門～自分の街を良くするために～」
丸木 一成 教授・埴岡 健一 教授
- IV 多彩な医療・福祉の展開**
15 「災害医療～災害に立ち向かう医療者たち～」
荒木田 美香子 教授・山下 留理子 准教授
- V 国際的な視点に立つ**
16 「病理医と学ぶ日本人に多い疾患（病気）：その国際的比較・検討」
長村 義之 特任教授

■ 看護生涯学習センター

看護分野の人材育成及び個人に合わせたキャリア支援など、生涯学習を支援することを目的として、2005年に国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス内に設立されました。日本看護協会認定看護管理者教育機関としての認定を受け「認定看護管理者教育課程」を実施しています。

大学院と連携し、ベテラン講師陣が最新の医療福祉や看護の動向について講義を提供しています。週末の開催なので働きながら学ぶことができ、学びをすぐに実践に活かすことができます。

URL <http://www.iuhw.ac.jp/mcec/tokyo/index.html>

■ 九州地区生涯教育センター

福岡にも「九州地区生涯教育センター」が置かれており、特定の看護分野及びリハビリテーション分野における高度な専門知識・技術を修得し、熟練した医療を提供すると同時に、看護職者・医療職者の生涯学習を支援する取り組みをおこなっています。

URL <http://www.iuhw.ac.jp/mcec/kyushu/>



■ 青山心理相談室

心理的な問題を一緒に考え、解決に向けて援助を行う、地域に開かれた心理相談機関です。

相談にあたる者は、主としてトレーニングを受けた臨床心理学専攻の学生が本学教員（日本臨床心理士資格認定協会より認定を受けた臨床心理士）の指導のもと、担当しています。



心理相談室の様子
心理相談を通じて、臨床心理学専攻の学生の心理実習も実施しています。

■ 医療福祉総合研究所

国際医療福祉大学、大学院の医療・福祉に関する研究リソースを活用し、学問領域横断的な研究を行うことを目的として設立されました。2013年、新所長として、厚生労働省及び内閣官房でわが国の医療福祉行政をけん引してきた中村秀一教授を迎え、これからの医療福祉のあるべき姿について、実践的なソリューションの提供と政策提言をめざして研究を行っています。



2014年に行った国際シンポジウムの様子

在校生・修了生の声

大学院では1999年の開設以降、これまでに2,700名以上の修了生を送り出してきました。現在は20代から70代の方まで、医療福祉にかかわる多様な背景を持った、約700名の学生たちが学んでいます。ここでは在校生、修了生の先輩たちの声をお届けします。

在校生の声



佐々木 晴子 さん

修士課程
看護学分野
看護管理・政策学領域
2年生
病院勤務

厳しい研究生活を乗り越えられる、充実した学習環境があります。

大学院への進学を決めたのは、同大学で認定看護管理者教育課程「ファーストレベル」研修を受けたことがきっかけでした。さらに深く看護管理について学びたいと考えていたところ、看護学分野に看護管理・政策領域があることを知り、入学を決めました。

入学してから、仕事と学業の両立は簡単ではありませんでした。研究は今までやったこともない未知の世界で、つらいことも多く、入学を後悔した事もありました。しかし、教授のご指導の下で行った学会発表や、ゼミでのプレゼンテーションや院生同士の交流は、大学院へ進学しなければ得られなかった貴重な体験であり、今では進学して本当に良かったと思っています。また、働きながら学べるように配慮されたカリキュラムも、学び続けることができる大きな要因です。

今後は、大学院で学んだ看護管理の知識や研究手法を実践の場で活かせるように、更に学びを深めていきたいと思います。

佐々木さんの1年次の時間割

赤字は必修科目

		3 時限	4 時限	5 時限	6 時限	7 時限
木曜	前期				統計学	統計学入門
金曜	前期				人口問題と政策	
	後期				災害医療論	
土曜	前期	看護管理・政策学講義Ⅰ	看護クオリティマネジメント論	看護学研究法Ⅱ		
	後期	看護管理・政策学講義Ⅱ				
集中講義		修士課程のための研究法入門（前期、VOD科目） 看護管理・政策学演習Ⅰ（後期）、看護管理・政策学研究指導Ⅰ・Ⅱ（前後期）				

木曜・金曜の夜間、土曜の午後に科目を集中させ、VOD（ビデオ・オン・デマンド）の集中講義などを取り入れ、働きながらも無理なく履修を進めることが出来ました。1年次では必要な科目を取れたので、2年次はゼミや修士論文の執筆に集中して取り組んでいます。



竹北 隼人 さん

修士課程
医療経営管理分野
医療経営戦略
（h-MBAコース）2年生
社会医療法人財団 大樹会
回生病院 医事課 課長

週末・夜間を中心としたカリキュラムで、働きながら無理なく学んでいます。

私が入学を決意した理由は、キャリアアップと人的ネットワークの構築です。h-MBAコースでは、医療に特化した経営の知識、マネジメントスキルを体系的に身につけることができます。特に4大経営資源である人、物、金、情報についての考え方が基礎となり、入学する前後を自己評価すると、同じ業務をするにしても経営的な視点に立って物事を捉えるよう意識するようになったと思います。

仕事と学業の2つのパフォーマンスを上げるために時に困難もございましたが、強い志をもった同期の姿を見ると、自然と集中力が高まりました。また、時間は自分で作るものと言い聞かせ、香川と東京を往復する時間を活用して、レポート作成等に奮励しております。

今後、学んだ考え方を現場で活用することはもちろん、OJTや部下指導、経営会議において、啓蒙活動していくとともに、10年後は当院のみならず地域の質を上げることに寄与できればと考えています。



授業の様子

異なるバックグラウンドを持つ学生と活発な意見が飛び交い、実際の現場で活用できるくらい議論が煮詰まることもあります。時に授業の枠を超えて、グループウェアでもやり取りを行なっています。



職場での竹北さん（左）

施設基準を通したマネジメントに従事しており、多職種と連携して運用の構築や見直しを図っております。



牧野 彩乃 さん

修士課程
医療通訳・国際医療マネジメント分野（英語コース）
1年生

他の大学院に先駆けた先進的な分野で、国際医療対応のプロを目指しています。

本大学院との出会いは、昨年度、ある医療通訳講座の授業中に耳にした、新分野開設に伴う進学説明会開催のお知らせでした。医療通訳を更に学びたいと希望していた私にとって、医療通訳を集中的に学び、一年でこの分野での修士号を授与されるコースの開設はとても魅力的でした。

授業では医療通訳技術に加え、それを支える臨床医学や医療事務・制度、国際医療サービス対応のノウハウなど幅広く学びます。通訳技術は、医師（日本）と通訳（豪州）のダブルライセンス保持者の先生の授業で、英語表現はもとより、医師ならではの視点や考え方も学べます。医療知識と通訳技術を車の両輪のように学ぶことで、どんな状況でも臨機応変に対処できる実力を培い、後期の施設実習へと進みます。

久々の学生生活ですが、さまざまなバックグラウンドをもつ社会人学生と交流する毎日は、本当にいい刺激になっています。この分野を真剣に学びたい方は、是非一度このコースの門を叩いてみることをお勧めします。

医療通訳・国際医療マネジメント分野とは

2017年4月より、医療サービスの国際化に対応できる人材の育成を目的として、日本初の分野として開設いたしました。1年間修了の修士課程で、医療通訳や国際医療事務に関する基本的な技術や知識と共に、医療機関等において国際医療サービスを展開していくために必要な経営戦略立案能力等を備えた人材を育成しています。土・日中心のカリキュラムやeラーニング等のICTを活用した授業システムを最大限に導入しており、働きながら無理なく学べるようになっています。

乃木坂スクールにも「医療通訳講座」を開講!

分野の設置に先駆けて、2016年度より開講しています。本学の医療通訳講座は、厚生労働省「医療通訳育成カリキュラム基準」を強化した本学独自のカリキュラムとなっており、修了者は、日本医療教育財団主催の「医療通訳技能認定試験（基礎／専門）」の受験資格を取得することもできます*。

* 2017年現在



劉暢 (りゅう ちょう) さん
修士課程 理学療法学分野
2010年修了
中華人民共和国
首都医科大学附属北京リハビリテーションセンター
理学療法士
修士学位論文テーマ
「荷重量の違いが足関節屈伸反応時間に及ぼす影響」

本学で学んだ理学療法を、母国で実践しています。

平成20年に本学の理学療法学科を卒業後、大学院に進学しました。2年間、授業を受けながら、文献検索や研究計画、実験の執行や論文発表まで、充実した研究生活を過ごしました。ゼミで文献抄録発表や研究報告をしたり、運動実習にアシスタントとして参加したり、また研究関係の講習会を何度も受講しました。忙しい日々でしたが、振り返ると臨床と研究の能力を構築する貴重な時間であり、指導してくださった先生方に深く感謝しております。

現在、北京リハビリテーション病院の神経リハビリ部門で理学療法士として勤務しており、年1回は日本の講習会に参加し、知識と技術を学び続けています。

大学院を志望される皆様には、とても充実した2年間で送れるようにお祈りいたします。今流す涙と汗は、きっと将来、自信の源になります。



大沼 学 さん
修士課程 視能療法学分野
2017年修了
総合新川橋病院 診療技術部
眼科検査科 科長、公益社団法人 日本視能訓練士協会
副会長、第59回 日本視能矯正学会 学会長
修士学位論文テーマ
「感覚性外斜視の発生メカニズムの研究—黄斑部疾患における両眼視機能の比較検討—」

時間の調整は大変でしたが、得たものは大きかったです。

私は45歳からお世話になりました。率直な感想は、「もっと早くやればよかった」です。家では夫であり父であり、職場ではたくさんの方の先輩がいて、それなりの役職もいただき教える立場でもあり、そんな環境や年齢では思っていた以上に時間の工面が大変でした。もっと身軽な時にしておけばと振り返っています。しかし、大変以上に得たものは大きかったと思います。新しい知識はもちろん、これまで積み重ねた経験や知識、さらに大学院への進学を決めた1番の理由でもあります。後輩への指導などに、幅と奥行きができました。特に研究へのアプローチ方法、論文作成では準備、考え方、手順など個人の勉強では得難いものです。

国際医療福祉大学院の教授、講師の先生方は眼科医師も多く、さらに他分野の先生方との交流もあります。これらのご指導は、視能訓練士だけではなく考え方が身につきます。年齢に関係なく、勉強したい時がやる時です。大学院というハードルが高い印象ですが、勉強したい人に一言、1歩踏み出す勇気それだけです。



鞍本 友香 さん
修士課程
生殖補助医療胚培養分野
2017年修了
2016年度 大学院院長賞受賞者
医療法人財団順和会
山王病院 胚培養士
課題研究テーマ
「体外受精を行ったAMH低値症例の治療成績」

関連病院での充実した実習や、手厚いサポートに支えられました。

大学では農学部在籍し、ブタ配偶子を扱った研究を行っていました。「胚培養士になりたい。ヒトの不妊治療について勉強したい。」研究を進めるうちに、この様な思いが強くなりました。そこで、生殖医療の最前線に立つ先生方の講義に加えて、施設での実習が受けられるなど、より専門性に特化した当大学院に進学を決めました。

大学院入学後は、実習施設である山王病院でお世話になりながら、ヒトの胚培養に関する技術や知識を身に付けました。学会発表も山王病院でサポートして頂きました。講義と実習の両立がしやすい環境であり、カリキュラムがとても充実していたと思います。

大学院での学びを生かし、現在は胚培養士として働いています。



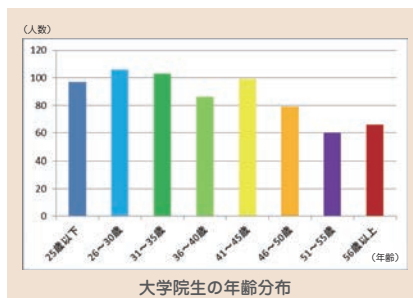
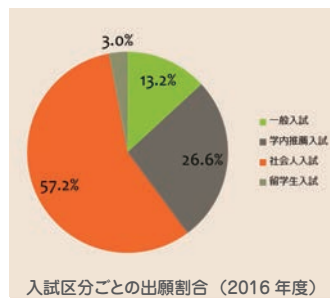
坂田 佳美 さん
博士課程 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
2014年 博士課程満了
2017年 論文博士(甲種)
本学大学院 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 助教
博士學位論文テーマ
「介護はチームワークの下で実践されているのか—介護老人福祉施設における介護の実態から—」

学生から教員へ。立場を変えて、学問の道を進んでいます。

介護社在籍中に知った自立支援介護理論をもっと学びたいと思うようになり、唯一学べる本大学院に進学しました。仕事と大学院を両立させることは決して楽ではありませんでしたが、授業のある日は仕事を切り上げ、有休をうまく活用するなどオンオフの切り替えを意識的に行いました。

学位論文を提出するまでの過程は厳しく、何度も諦めかけましたが、指導教員の厚いご指導とOBの方々から多くの励ましをいただいたことで、学位を取得することができ、さらに、本大学院の教員としてのキャリアアップにも繋がりました。

今後は自身の経験を活かし、院生が研究を進める上で困難に感じることなど、院生により近い視点でサポートを行っていきたいと思っています。



POINT! 社会人を中心に、幅広い年齢層の大学院生が学んでいます。

入試データの通り、約6割の方は社会人入試で出願されています。学内推薦や一般入試の方も含め、働きながら通学する学生は9割以上になります。

また年齢層も幅広く、大学卒業直後の20代から、定年退職されて第二のキャリアをスタートされている60代以上の方まで、さまざまな目的と意欲を持った学生たちが学んでいます。

大学院に関する詳しい情報は、ホームページ、募集要項をご覧ください。

大学院ホームページ <http://www.uhw.ac.jp/daigakuin/>

分野・専攻・研究科のご案内

担当教員、授業科目のご紹介、分野・専攻・研究科パンフレットのダウンロード、在校生のメッセージ、時間割例



入学案内

出願手順、出願Q&A、募集要項、教員連絡先一覧、出願書類ダウンロード

ホームページから資料請求できます

大学院について

大学院長ご挨拶、教育理念、特長、キャンパス紹介、関連施設(病院、福祉施設等)のご案内

修了生のメッセージ

言語聴覚士、理学療法士、視能訓練士、作業療法士、診療放射線技師、介護支援専門員(ケアマネジャー)、薬剤師

大学院 Facebook

<https://www.facebook.com/uhwgws>

大学院 Twitter

https://www.twitter.com/uhw_grad

大学院 YouTube

<http://www.youtube.com/user/uhwmovie>

国際医療福祉大学大学院

大田原キャンパス

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1

Tel: 0287-24-3000 (代表) E-mail: daigakuin@iuhw.ac.jp

JR東北新幹線・JR東北本線「那須塩原」駅東口下車、スクールバス約20分

成田キャンパス

〒286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3

Tel: 0476-20-7701 E-mail: narita.s.c@iuhw.ac.jp

京成本線「公津の杜」駅前 徒歩約1分

東京青山キャンパス*

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー4・5階

Tel: 03-6406-8621 E-mail: tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

東京メトロ銀座線・半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目」駅 徒歩2分

小田原キャンパス

〒250-8588 神奈川県小田原市城山1-2-25

Tel: 0465-21-6500 E-mail: odawara.s.c@iuhw.ac.jp

JR東海道新幹線・JR東海道線・小田急線・箱根登山鉄道・大雄山線「小田原」駅西口 徒歩3分

熱海キャンパス

〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1 国際医療福祉大学熱海病院内

Tel: 0557-81-9171 E-mail: atami.s.c@iuhw.ac.jp

JR東海道新幹線・JR東海道線「熱海」駅徒歩8分または、バス「大学病院前」

福岡キャンパス

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16

Tel: 092-407-0434 E-mail: fukucamp@iuhw.ac.jp

福岡市営地下鉄「西新」駅 徒歩15分または、

西鉄バス「医師会館・ソフトリサーチパーク前」下車 徒歩1分

大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市津津137-1

Tel: 0944-89-2000 E-mail: oocamp@iuhw.ac.jp

JR長崎本線・佐世保線・唐津線「佐賀」駅下車 バス約30分、西鉄「柳川」駅下車 バス約20分



大田原キャンパス



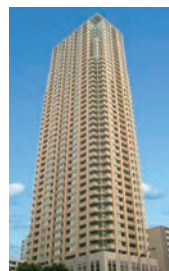
小田原キャンパス



成田キャンパス



熱海キャンパス



東京青山キャンパス



福岡キャンパス



大川キャンパス

*東京青山キャンパスは、2018年4月開設の東京赤坂キャンパスに移転します。

大学院各キャンパスへのアクセスマップは、大学院ホームページ（トップページ）をご参照ください。

国際医療福祉大学 看護生涯学習センター

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー4階

Tel: 03-6406-8623 Fax: 03-6406-8631

国際医療福祉大学 九州地区生涯教育センター

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16

Tel: 092-407-0434 Fax: 092-407-0474

国際医療福祉総合研究所

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー4階

Tel: 03-6406-8621 Fax: 03-6406-8622

国際医療福祉大学大学院 青山心理相談室

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー5階

Tel: 03-6406-8624

入試に関するご相談

国際医療福祉大学 大田原キャンパス 入試事務室

TEL: 0287-24-3200 FAX: 0287-24-3199

Eメール: nyushi@iuhw.ac.jp

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1

*修士課程は、専門学校等を卒業された満22歳以上の方も出願可能です。（国家資格保持等の条件を満たしている必要があります）

大学院に関するお問い合わせ

国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス

TEL: 03-6406-8621 FAX: 03-6406-8622

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3

青山一丁目タワー4・5階

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください



0120-36-5931

E-mail nyushi@iuhw.ac.jp



HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

国際医療福祉大学



HP <http://www.iuhw.ac.jp/>

- 医学部：医学科 ■薬学部：薬学科（6年制） ■医療福祉学部：医療福祉・マネジメント学科
- 保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科
- 成田看護学部（成田キャンパス）：看護学科
- 成田保健医療学部（成田キャンパス）：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科
- 小田原保健医療学部（小田原キャンパス）：看護学科、理学療法学科、作業療法学科
- 福岡看護学部（福岡キャンパス）：看護学科
- 福岡保健医療学部（大川キャンパス）：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科

附属病院



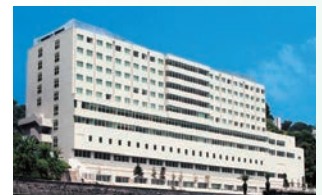
国際医療福祉大学病院（栃木県）



国際医療福祉大学塩谷病院（栃木県）



国際医療福祉大学三田病院（東京都）



国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）

*9月1日より、国際医療福祉大学市川病院（旧・化学療法研究所附属病院）が附属病院に加わります。